

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

20196

学校図書館充実事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜き子供たちの学力の育成
施策	1	確かな学力を育む教育の推進
取組方針	1	教育課程の充実と学力の向上

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・ 予算区分	会計		
	款		
	項		
	目		
	大事業		
	中事業		

事業種別	継続	関連個別計画	第2次和歌山市子供読書活動推進計画、第2次教育振興基本計画
事業年度	平成28年度 ~ 無し	担当課・担当課長・Tel	読書活動推進課 権藤裕子 435-1165
事業実施の根拠法令	学校図書館法	関連課	学校教育課 等

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	公立小中学校の全児童生徒の多様な読書活動を一層充実させるために、学校図書館に司書の配置を進める。		学校図書館の環境整備、学習活動支援、学校と市民図書館の連携調整などを行い、学校における読書活動の充実を図る。			
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	
	学校教育部教職員課から教育学習部読書活動推進課へ事業移管。学校司書3人と読書活動推進課司書1人、計4人で14校を受け持ち、学校図書館の環境整備、読み聞かせ等の読書活動に係る支援、公共図書館からの団体貸出の利用促進を図った。	学校司書4人と読書活動推進課司書1人、計5人で20校を受け持ち、各校において学校図書館の環境整備、読み聞かせやブックトーク等の読書活動に係る支援、公共図書館からの団体貸出の利用促進を図る。また教員や図書ボランティアとの連携も積極的に行った。	学校司書5人が18校を受け持ち、各校において学校図書館の環境整備、読み聞かせやブックトーク等の読書活動に係る支援、公共図書館からの団体貸出の利用促進を図る。また教員や図書ボランティアとの連携も積極的に行う。	学校司書7人が31校を受け持ち、各校において学校図書館の環境整備、読み聞かせやブックトーク等の読書活動に係る支援、公共図書館からの団体貸出の利用促進を図る。また教員や図書ボランティアとの連携も積極的に行う。	各校に学校司書を効率的に配置し、学校図書館の環境整備、読み聞かせなどの読書活動推進に係る支援、読書や学習に関する図書資料のレファレンスや資料提供を行う。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	6,808	8,841	11,837	10,993	12,256	11,050	17,690	0	17,690	0	
伸び率(%)	0%	0%	73.9%	24.3%	3.5%	0.5%	44.3%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	17,517	17,198	15,359	15,127	12,939	17,352	17,352	0	17,352	0
	正規職員以外	8,278	7,455	9,865	10,966	11,709	11,981	16,315	0	16,315	0
	小計	25,795	24,653	25,224	26,093	24,648	29,333	33,667	0	33,667	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	22	28	27	30	37	74	0	74	0	
一般財源(税等)	6,808	8,819	11,809	10,966	12,226	11,013	17,616	0	17,616	0	
所要人数(人)	正規職員	2.20	2.16	1.98	1.95	1.73	2.32	2.32	0.00	2.32	0.00
	正規職員以外	3.82	3.44	4.30	4.78	5.16	5.28	7.19	0.00	7.19	0.00
主な予算内訳	令和4年度当初予算：人件費11,478千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
学校司書採用人数		人	目標値	6	6	9	9	9
			実績値	4	5	5	7	7
			達成度(%)	66%	83%	55%	78%	%
学校司書配置校数(中学校)		校	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	4	5	5	10	10
			達成度(%)	24%	29%	29%	59%	%
学校司書配置校数(小学校)※義務教育学校含む		校	目標値	51	51	51	51	51
			実績値	10	15	13	20	20
			達成度(%)	20%	29%	25%	39%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和4年度は、令和3年度から学校司書1名増員し、小学校13校と中学校5校を巡回した。図書整備を進めながら専門的知識を生かしたレファレンスや読み聞かせ、児童生徒に個別に興味のある本の案内などを行い、読書が身近なものになるように務めた。また授業に関連する本を収集、提供することで授業の支援を行った。学校司書が巡回した学校では、「本に親しむ機会が増えました」「図書館がとても使いやすくなった」等の声が寄せられている。
見直し・改善内容	令和5年度で市内すべての学校に学校司書が一度は巡回することになるため、2巡目、3巡目の学校に対して、より効率的で効果的な巡回方法をとっていく必要がある。今年度は1巡目の学校と2巡目の学校が混在しているため、学校司書2名は、曜日ごとに毎週巡回し、5名は一週間ごとに巡回しながら中学校2校を3週間に1日巡回する予定となっている。この巡回方法の実績・成果を検証し、今後の巡回方法を検討したい。隔年での配置に向け9人配置できることを目指していく。